

三重県 デジタル社会の未来像

- 概要版 -



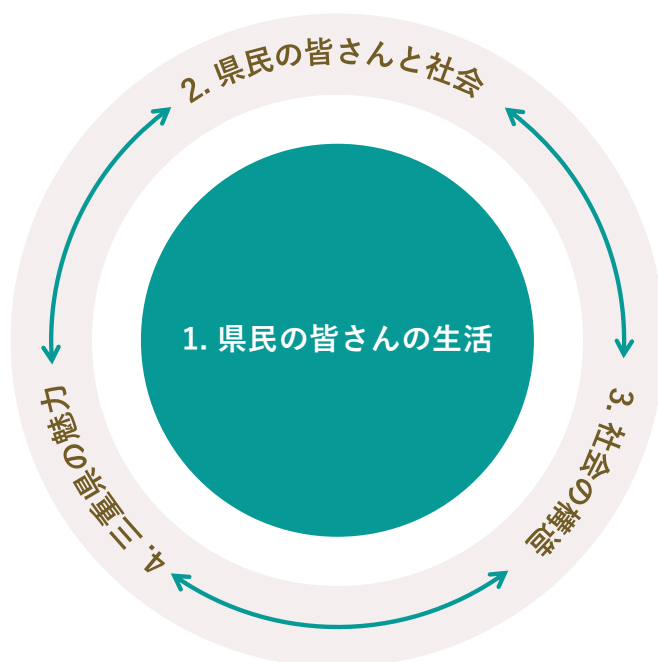
令和4年 3月
三重県

「三重県 デジタル社会の未来像」 概要説明 (1/3)



三重県のデジタル社会の未来について、インタビューやワークショップを通じて県民の皆さんと一緒に考え、意見やアイデアを未来像として取りまとめました。また、皆さんと共に考えた未来像の実現に向けて、デジタル活用の主な観点を整理しています。

デジタル社会の未来像 2050



「三重県 デジタル社会の未来像」 概要説明 (2/3)



2050年のデジタル社会の未来像とデジタル活用の主な観点を「県民の皆さんの生活」、「県民の皆さんと社会」、「社会の構造」、「三重県の魅力」4つの項目で整理しました。(1/2)

1. 県民の生活

【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、DXによって一人ひとりの時間や気持ちに余裕が生まれて、それぞれが本当にやりたいことができるようになります。

さらに、それぞれの地域でDXが進んで、住みたい場所で自由に働き、住み続けられるようになり、仮想空間も柔軟に取り入れられて、多様なライフスタイルから自由に選択できる社会となっています。

また、物理的な距離が離れていてもデジタルで人とのつながりが日常化し、孤独を感じずに三重の暮らしを楽しみ続けることが出来ています。

【デジタル活用の主な観点】

- ▶ 心豊かな暮らし（ウェルビーイング）
- ▶ 行政サービス100%デジタル化
- ▶ 都市に負けない利便性と可能性
- ▶ ライフとワークの双方におけるDX
- ▶ 時間と空間の制約を取り払う新たなコミュニケーション

2. 県民の皆さんと社会

【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、一人ひとりのデジタル社会への適応が進み、デジタルが自然と生活の中に溶け込んで、意識しなくても活用できるようになります。

また、誰もが学びや成長、個性を発揮する機会を得られることで、新たな幸せを見出しています。

そして、多様なバックグラウンドを持つ人々が自分らしく暮らし、尊重し合う寛容な社会となっています。

【デジタル活用の主な観点】

- ▶ デジタル社会への適応を牽引するDX人材
- ▶ デジタル社会への適応に向けた学び直し
- ▶ 行政サービス利用者の体験価値の向上とデジタル格差の抑止
- ▶ 一人ひとりの多様性を重視する社会づくり

「三重県 デジタル社会の未来像」 概要説明 (3/3)



2050年のデジタル社会の未来像とデジタル活用の主な観点を「県民の皆さんの生活」、「県民の皆さんと社会」、「社会の構造」、「三重県の魅力」4つの項目で整理しました。(2/2)

3. 社会の構造

【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、デジタルの最大活用によって、少子高齢化・人口減少・経済・環境などの社会不安への対応を進めながら、安心した暮らしが続けられるようになっています。

また、DXによって時間の余裕が生まれ、自己実現を果たす人の元気がめぐり、みんなで助け合える社会になっています。

さらに、みんながデジタルでつながって、一人ひとりのチカラを合わせて社会課題を解決しています。

【デジタル活用の主な観点】

- ▶ 徹底的なオープンデータ化
- ▶ デジタルツインとデータ連携基盤
- ▶ 県外スタートアップ企業と県内スタートアップ企業
- ▶ 利便性の向上と安全安心の両立

4. 三重県の魅力

【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、一人ひとりにいち早くデジタルの恩恵が行き渡って、心豊かな暮らしが持続されています。

また、自然・食・伝統文化など、今ある三重の魅力を守ることとデジタルによる進化とを両立して、新しい三重らしさが創られています。

そして、住む場所、働く場所、旅行先など、みんなに選ばれる誇り高い三重になっています。

【デジタル活用の主な観点】

- ▶ デジタル活用度合いの把握と分析
- ▶ 県全域で快適なデジタルインフラ
- ▶ 国際的な地域間競争に勝てる魅力
- ▶ 定期的に見直すデジタル社会の未来像
- ▶ DXによる地域の変化や成果が実感できる情報発信